

企業名	株式会社関・空間設計
育児休業取得期間	76 日間
企業の感想	
<p>社内で男性の育児休業に関する研修やワークショップを複数回開催した結果、社員の意識が向上した。共働き世帯が増え、女性の活躍が求められる今、男性の育児参加は不可欠であるという認識が社内に定着し、取得しやすい環境が整いつつある。</p> <p>また、ワークショップでは男性の育児休業にとどまらず、介護やさまざまな事情を抱えながら働く人々にも目を向け、働きやすい職場環境の実現に向けた意見交換を行うことができた。</p> <p>取得希望者の意向を尊重しながら休業計画を立てたことで、有給休暇・在宅ワーク・育児休業を柔軟に組み合わせた取得が可能となり、2ヶ月半という長期取得の実績も生まれた。</p> <p>実績ができたことで、今後の取得のハードルは確実に下がると考えられる。</p> <p>今後は、妊娠の報告があった時点で早めに計画を立て、業務分担を調整することで、休業中の業務を担う社員の負担を軽減できるよう工夫していきたい。</p> <p>なお、会社独自の制度として、業務をサポートした社員への手当や、社員全員への手当支給を実施する予定である。</p>	
育児休業を取得した男性従業員の感想	
<p>出産直後に長男・次男が流行していた手足口病に感染しました。</p> <p>新生児を感染から守るため隔離する必要がある、私は実家(長男・次男)と自宅(妻・三男)を往復しながら感染対策を行う生活が続きました。正直、育休を取得していなければ隔離生活は非常に困難だったと思います。結果的に三男への感染はなく、今も元気に成長しています。</p> <p>2か月半の育休期間を通じて、新生児だけでなく、長男・次男とも十分な時間を過ごせたことは、とても意義がありました。</p> <p>保育園の送迎や食事、お風呂などはもちろん、新生児にかかりきりになりがちなか中でも、長男・次男が寂しい思いをすることなく、楽しく過ごせました。</p> <p>育休期間中は通常よりも保育園からの帰りが早かったため、お迎え後に少しでも公園に寄ったり、買い物をしたりするのが日課となり、私自身も充実した時間を持ってました。</p> <p>また、妻の体が最もつらい時期に支えられたことで、長男・次男の出産時と比べても体調の回復が目に見えて早かったように思います。おかげで、私が仕事復帰した後も順調に子育てが進んでいます。</p> <p>会社としても、長期の育休取得は初めてのケースだったため不安もありましたが、育休を後押しして下さった先輩ママや、育休期間中の業務を引き継いでくださった上司・会社の皆さんに、心から感謝しています。</p>	